



「あかもく醤油」いかが?

小坪産の海藻で地場産品

磯の香り漂う醤油、出来ました。

自然食品製造・卸売業を手掛ける「㈱TAC21」(本社／小坪・田耕邦子社長)

がこのほど、小坪産の海藻、アカモクを使った「天日干しあかもく醤油」を開発した。「地域活性化の一助に」と1年がかりで商品化。「気軽に食卓で楽しんでいただけたら」と話している。

アカモクは特有の粘り気と食感が特徴で、ワカメや

コンブなどと同じく褐色の

海藻の一種。全国の海に自生し、ミネラルを豊富に含むことから地域の特産品として商品化する動きが各地で広がっている。

同社が開発した醤油は、自社で天日干したアカモ

クを粉状にし、天然の醸造醤油に漬け込む。粉と醤油との配合バランス、塩分調整などに試行錯誤を重ね、上品な旨みと磯の香りが引き立つ逸品に仕上げた。「冷奴やお刺身はもちろん、オリーブ油との相性も良く

開発した「あかもく醤油」をPRする開催TAC21の田耕社長1本120ml入りで690円(税込)パスタやサラダにも。色々な料理と合わせてみて」と田耕社長。糸を引くどろみが特徴で、塩分も一般的な醤油の7割ほど。4月に逗子駅前で開催された逗子みやげまつりに出店したところ、来場者からの反応も上々だったという。

同社では醤油のほか、ブイヨンや天日干しの乾燥品も開発。田耕社長は「逗子には地元産品が少ないので、気運がより高まって、まちが一層元気になれば」と期待を寄せた。

あかもく醤油は120ml入り690円(税込)。「スズキヤ逗子駅前店」などで購入できる。今日29日(金)とあす30日(土)には同店で試食販売会も予定(午前11時～午後7時)。問合せは同社

046-872-4811